

## 日本ユニシス株式会社

2016年3月期 第1四半期 決算説明会（2015年7月31日開催）

### 主な質疑応答

（ご理解いただきやすいよう表現を変更している箇所があります。）

#### 【質問者 A】

**Q： 第2四半期(7-9月期)の見通しには、不採算リスクとして5億円を織り込んでいるとのことだが、何か具体的な案件が見えているのか？**

A： 具体的な案件があるわけではなく、リスクとして5億円を織り込んでいる。

**Q： 金融や商業・流通向けビジネスにおいて、受注環境が良好とのことだが、どのような分野が牽引すると見ているのか？**

A： 金融は、信用金庫向け案件を中心に引き続き堅調である。商業・流通は、当社が強みを持つ小売・通販向けで非常に引き合いが強い。特に、ECサイトなどのフロント系に注力しているお客様が多く、当社もその分野のお手伝いをさせていただいている。

#### 【質問者 B】

**Q： 第1四半期のサポートサービスの売上総利益率が悪化(前年同期比▲3.8pt)しているが、その理由を教えてください。この傾向は第2四半期以降も続くのか？**

A： サポートサービスは、これまで減収減益が続いており、オープン化や機器製品の性能向上によるお客様の保守サービス内容の見直し等により、全体的に利益率は低下傾向にある。一方で、足元の受注は力強いので、今後は一定水準の売上、収益は確保できるものと考えている。

（注）本資料で記述しております業績見通し等の予測数値は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

**【質問者 C】**

**Q:** システムサービスにおいて、第 1 四半期に開発費用 4 億円を前倒し計上したとのことだが、具体的な内容と、その案件の収益見通しを教えてください。

A: お客様との関係もあり、案件の具体的内容については回答を控えさせていただくが、この費用は今期の下期以降に回収していく計画である。

**Q:** 今期は、通期の販管費が前期比で増加の見通しとなっているのに対して、第 1 四半期の費消が少なく見えるのだが、これは計画通りの進捗なのか？

A: 第 1 四半期の販管費は、当社の通常レベルの費消であり、計画通りに進捗しており、通期の販管費は、期初計画通り 550 億円となる見通しである。

**【質問者 D】**

**Q:** 第 1 四半期の金融向け売上高が減収となっているが、案件は活況とのことなので、通期では増収と見ているのか？また、電力・サービス分野で通信キャリア向け案件に復活の兆しとあるが、具体的にどのような案件なのか教えてください。

A: 金融は、第 2 四半期以降キャッチアップし、通期では増収となる見通しである。通信キャリアは、キャリア本体向けの案件だけではなく、キャリアとの協業案件も含め、今期複数件の受注を獲得しており、前年同期と比較すれば環境は良くなっていると認識している。

**Q:** 売上総利益率は、第 1 四半期に低下(前年同期比▲1.9pt)した一方で、通期は前期並み(+0.5pt)の見通しとなっているが、その背景を教えてください。

A: 第 1 四半期は、システムサービスにおいて開発費用の前倒し計上等もあり、利益率が低下しているが、足元の受注残の状況や、引き続きアウトソーシングが堅調に推移していくこと等を勘案し、下期以降、利益率は改善していく見通しである。

(注)本資料で記述しております業績見通し等の予測数値は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。